



地域連携だより

2023

2月

Vol.104

私たちは東大阪病院の認定看護師です

東大阪病院には専門分野に特化した豊富な知識と高い技術をもつ「認定看護師」が在籍しています。5つの専門分野、5名の認定看護師を紹介させていただきます。



公益社団法人 日本看護協会
皮膚・排泄ケア認定看護師（2013年取得）

光門 智美（みつかど ともみ）

院内では創傷（主に褥瘡）・ストーマ（人工肛門・人工膀胱）・排泄ケア（失禁、オムツなど）を専門とし「どうしたら様々な刺激から皮膚を守り、皮膚の働きが正常に向かうのか」を考え活動しています。褥瘡・ストーマ・失禁とケアをする範囲が広い上、多種多様な物品を活用する分野です。

入院時から退院後までご本人・ご家族へ寄り添える看護、そして共に行える簡便なケアの提供を心がけ、その人らしい充実した生活が送れるようにお手伝いいたします。褥瘡が中々治癒しない、ストーマ周囲の皮膚トラブル、オムツかぶれ等で困られていることがございましたら遠慮なくご相談ください。

感染管理認定看護師は、「医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者様とご家族を医療関連感染から守る」という役割が求められます。患者様や職員の健康を守るため、日々活動を行っています。昨今、専門性が高い医療が求められる中、感染対策も新しく変化しています。医療を提供する場での感染対策をわかりやすく具体的に提供し、縁の下の力持ちとなって支えていきたいと思ひます。感染対策に関するご不明点、ご依頼などがありましたらいつでもご相談ください。



公益社団法人 日本看護協会
感染管理認定看護師（2015年取得）

白井 智美（しらい ともみ）

私は患者様とご家族の方が、がんと共に生きていく上で痛みや呼吸困難、不眠や不安といった様々な困難があっても穏やかに笑顔で過ごせるような関りを大切にしています。特にご家族へのケアは重要と考えており、病棟看護師と一緒に考え、医師や薬剤師、リハビリ療法士やMSWなどの多職種と協働して専門的な緩和ケアを行っています。

がんに関連した困りごとや悩み事などがありましたら、より良い方法を一緒に考えていきたいと思ひますのでいつでもご相談ください。



公益社団法人 日本看護協会
緩和ケア認定看護師（2016年取得）

北地 春菜（きたじ はるな）

回復期とは、脳血管疾患や骨折後の急性期治療を終え病状が安定し急な病状変化が考えにくい段階にあることを指します。この回復能力の高い時期に集中的に家庭や社会への復帰を目的としたリハビリテーションを行うのが回復期リハビリテーション病棟です。

回復期リハビリテーション病棟に入院される患者様は慣れない入院生活や身体機能の低下による不安などの多くのストレスを抱えていらっしゃいます。私はそんな患者様の不安に寄り添い、患者様とご家族が退院後の生活に希望を持ち地域社会の中で趣味や役割をもち生き生きと生活できるようにお手伝いさせていただいています。リハビリテーションに関連した困りごとや悩み事がありましたら、遠慮なくご相談ください。



一般社団法人回復期リハビリテーション協会
回復期リハビリテーション認定看護師（2017年取得）

松久 真穂（まつひさ まほ）



私は現在回復期リハビリテーション病棟で勤務しております。病気や入院を機にせん妄の発症や、元々の認知機能が入院による環境の変化などで低下されることが多くあります。入院患者様が安心・安全に入院生活が送れるように多職種で協働し支援させていただいています。認知症のある患者様の「その人らしさ」や「持てる力」に寄り添えるような看護ができればと思っています。

地域で生活されている方の認知症看護でお困りのことや悩み事などがありましたらご相談ください。よろしくお願いいたします。

公益社団法人 日本看護協会
認知症看護認定看護師（2020年取得）

長谷川 はるみ（はせがわ はるみ）

認定看護師制度は、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。

入院患者様をはじめとした院内のケアの活動だけではなく、各種ご相談や研修といった活動を通して地域の方々へ良質な看護提供を目指しております。ご依頼いただけましたら医院・クリニックでの研修やケアのご相談を承りますのでご連絡ください。



東大阪病院 地域医療連携部

直通TEL **06-6932-0369** 直通FAX **06-6932-0086**

東大阪病院（代表）

大阪府大阪市城東区中央1丁目7-22

TEL:06(6939)1121 FAX:06(6939)1191